

# ふじしろ政夫と共に市政を変える会

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース08年7月号  
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL&FAX 047-445-9144  
E-メール masao.fujishiro@zc.wakwak.com ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

## 世直し・変革！人間の社会へ……

75才以上の方々をひとくくりにして医療費を抑制しようとする“平成のうば捨て山”＝後期高齢者医療制度が、国民の怒りをかっています。この10数年間おこなわれてきた“構造改革”“規制緩和”“改革”という「希望」の言葉の実態が「絶望」でしかなかったことが明らかになりつつあります。

政・官・財の癒着と、既得権の構造を変えるはずの“改革”が、ただ、新たな少数の「勝ち組」をつくり出すだけで、多くの市民にとっては、日々の生活の崩壊でしかなかった。

農業基盤は、米国の農産物市場の為に開放され、すでに日本の食料自給率は39%でしなくなりました。

そして規制緩和は、働く人々の1/3が非正規雇用でしか、生きていけない、雇用環境（労資関係）をつくり出すことであったことが、明らかになりました。格差社会、貧困をつくり出すことのみ、グローバル企業が世界中で経済活動をしていける、そんな経済構造をつくり出してしまったのです。財政危機（800兆円以上の借金）の問題を“痛みを分けあう（生活の切りつめ、社会保障・福祉のきりつめ、そして自己責任）”ことで解決しようとしてきました。社会的セイフティーネットは、削減の対象でしかなかったのです。

新自由主義（市場原理主義、弱肉強食・優勝劣敗）がすべての領域でおしすすめられた結果です。

日経連は1995年「新時代の日本的経営」で、はっきりと“非正規雇用の労働者をつくり出さなければいけない”と、今日の状況を目標としました。

改革の目的そのものが貧困と格差社会を生み出すことであったのです。

私達は……どう対応すればいいのでしょうか？

雨宮処凛さんは講演の中で、次の様に話しています。“ネットカフェ難民といわれる貧困層の中にいる若者の中から『希望は戦争』という言葉が出ている”と。ファシズムへの道を歩んでいくのか、それとも一人一人の人間の心と人間の尊厳を大切にす社会へと転換していくのか、大きな分岐点にたっているのではないのでしょうか。そこまで、社会・経済の状況は悪化しているのです。

競争と自己責任によって生み出される貧困と格差の社会から“豊かな心の互助と公助の人間の社会”へと「世直し」「変革」をしていく必要があります。



市議会議員  
ふじしろ政夫

### 6月議会で議論されたこと

#### ◇屈折はしご付消防自動車1台購入



中央消防署

：指名競争入札でしたが、対象社2社で1社が辞退したので1社のみ入札・契約金額9324万円（消費税込）、落札率は99.2%でした。

特殊車輛とはいえ、1社での入札は今後の課題です。

（議案第6号）

#### ◇鎌ヶ谷市総合基本計画審議会へ市民も参加

：委員としてこれまでの学識経験者、各団体からの代表の他、市民公募3名を加えることとしました。市民との「地域懇談会」も始まりました。市民協働のうえでも一歩前進です。

（議案第2号）

#### ◇「敬老祝金」現行条例どうり実施します。

（議案第5号）

予算は1035万円です。

満80才(490人)：1万円 満88才(200人)：2万円  
満99才(15人)：3万円 満100才以上(20人)：5万円

#### ◇議員定数24名(3名減)に！

6月議会、開会の冒頭、議員定数3名減の条例案が議員から提案されました。賛成多数で可決しました。行財政改革、市民の意思形成、監視機関としての機能等の観点から定数削減が議事運営委員会の中で検討されてきました。

3月議会では“財政事情もよく、人口も多い浦安市が、ほぼ10年間21名の議員で運営できているのだから、鎌ヶ谷市も21名程度”といった市民からの陳情がありました。否決され（賛成はふじしろ市議1名）、今回の24名へととなりました。

# ふじしろ政夫の一般質問

## ☆“一本桜”を守ろう！

### — 地域の理解と協力で —



道野辺中央1丁目の“一本桜”。毎年市民の目を楽ませてください。道路拡幅工事でどうなるのか？公共工事における緑と自然の保全について質問しました。桜のある場所、計画では車道の位置になってしまうが、守る為に話し合いをするとのことです。

#### 公共工事において自然の保全は必要です

**ふじしろ市議：**志木市の「自然再生条例」では公共工事で木々を迂回し自然を守りますが、どう思いますか

**都市建設部長：**公共工事における自然との共生は必要で、重要なことです。

**ふじしろ市議：**鎌ヶ谷市は公共工事で緑・木々にどう対応しますか。

**都市建設部長：**原則として、自然を取り込み、保全・再生していきたいです。

#### 桜の保全へ話し合う

**都市建設部長：**桜の木を残すことにより、この道路がうるおいのあるものになる可能性がたかくなります。何よりも地域のご理解とご協力が必要です。

桜の木の土地所有者と話し合い、桜の保全を総体の中で判断していきます。

## ☆次期固定翼哨戒機XP-1はジェット機

下総基地では、P3C、YS11の飛行訓練がおこなわれています。航空機騒音の状況が十数年間改善されていないこと。P3Cの次期哨戒機(XP-1)がジェット機であることで、騒音が拡大するのではないかと心配されています。鎌ヶ谷市は、市役所前の看板や広報で「米軍機使用絶対反対」の方針を貫いています。

XP-1に対してはどうか、質問しました。

#### 22時からの飛行、土・日・祝日等飛行訓練を行わないよう要請

**市民生活部長：**協定書はないが、下総基地に対しては夜22時からの飛行、土・日・祝日、小中学校の入学・卒業時などには訓練しないよう要望しています。

#### XP-1は下総基地にあるP3Cの次期哨戒機です

**総務企画部長：**P3C機の耐用運航時間は1万5千

時間です。下総基地のP3Cは老朽化に伴い段階的にXP-1機に更新していく予定だとのことです。現時点では、個別具体的な計画は有していないとのことです。

#### XP-1はジェット機です。騒音が心配です

**総務企画部長：**北関東防衛局からの回答によると、XP-1機はP3Cに比べて巡航出力で10デンベル、離陸出力において5デンベル低減しています。

**ふじしろ市議：**岐阜基地の調査では、ジェット機XP-1の方が騒音値が高い数字も出ています。

#### 市は住民の生活環境が脅かされないよう対応します

**ふじしろ市議：**XP-1の情報が下総基地からはなかなか公開されません。市民への情報の公開と、安易にうけ入れないという姿勢できちんと対応して下さい。

**総務企画部長：**XP-1を受け入れるかどうかは、配備される飛行機の騒音レベルや訓練の頻度等の状況によって周辺住民の生活環境が脅かされないよう、状況を把握し、場合によっては要望書の申し入れをしていきます。

## ☆～ 現代のうば捨山 ～ 後期高齢者医療制度は制度破綻

医療制度改革大綱(H17.12.1)で、医療費適正化の方針が出され、4/1から75才以上の方々を別枠にして、老人医療費を抑制していこうという“後期高齢者医療制度”が始まりました。運営主体である広域連合の構成団体・鎌ヶ谷市の対応を質問しました。

#### 75才以上の医療給付サービスの内容が変わります

**市民部長：**「後期高齢者診療料(主治医制)」は月600点で、高齢者の特性に対応します。届出を行った医療機関と患者さんとの同意があった場合の適用です。

**ふじしろ市議：**主治医制の場合、病状が悪化し、再診し、レントゲン、痰の検査などをすると70数十点になり、600点以上の分(1点10円)は、医療機関の持ち出しとなり、医療抑制へとつながる問題点があります。しかも、主治医制へ誘導する診療報酬がたくさんあります。

#### 75才以上の別枠は制度としてなりたたない

**ふじしろ市議：**後期高齢者制度は、高齢者の保険料で10%、現役世代の支援金40%、公費50%という財源構成ですが、①2年ごとの改定で、確実に75才以上の方々の保険料はあがり②支援金は40%を上限にして徐々に下がります(厚労省資料)。しかも③「老人医療費を徐々に下げていかなければならない」(医療費適正化基本方針)となると、今後、75才以上の人々の保険料を倍以上にする(無理なことです)か、医療給付を抑制するしかありません。保険制度としてはなりたちません。あえて制度を維持するとすると、医療給付を十分におこなえない制度となり“混合診療”を導入す

る為の一步なのかと疑ってしまいます。(米国の  
年次改革要望書で要求されています)

保険料は一人一人から徴収するが、  
軽減は世帯収入で?

市民部長：昨今の見直し作業の推移を見守ります。

老人保険制度では出さなかった『資格証』を後期高齢  
者制度ではなぜ出すの?

市民部長：分かりません。

年金天引はおかしい

ふじしろ市議：経済的支援  
を行う目的である基礎年  
金から税金や保険料を天  
引するのは、基礎年金の  
意義と矛盾します。



## 個人市民税も公的年金から天引! (報告1号)

65才以上の公的年金等の受給者からの市民税徴収が、平成21年10月から、原則年金天引となります。鎌ヶ谷市の対象者は7300人程。地方税法で国が決めました。

介護保険料、国民健康保険料、後期高齢者保険料、所得税そして市民税も年金から天引される仕組みは果して“市民主権”の制度なのだろうか?疑問を感じます。

※例えば、世帯主(男) 年金225万円 妻 79万2千円収入のケースでは、

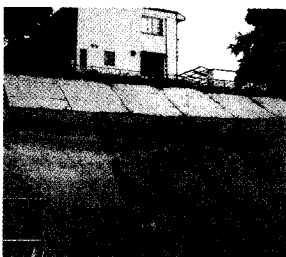
所得税9,100円、介護保険料61,400円、国民健康保険料118,800円、市民税18,000円 計207,300円が年金から天引されます。

「基礎年金」は生活費としてあったと思っていましたが、保険料や納税の為のものだったのでしょうか?

## 中部小うら斜面 —土地の競売、落札業者決定—

昨年中部小うら斜面林が伐採され、ブルドーザが入り斜面の土を掘おこしたと思ったら業者が経営困難に……崩れた斜面がそのまま……開発許可の問題が提起されていた土地が先般(08.5/22)、競売にかけられ落札されました。

新たな業者が決定したわけです。一日も早く、崩れた斜面の安全性の確保、そして今後の宅地開発への地元住民への説明会を開かれることが望めます。一度開発許可を出した行政の責任もあります。周辺住民が安心できるよう適切な行政指導をすべきだと思われます。(M)



## “水俣”の意味

これからの私達は……

第9回水俣病記念講演会が、有楽町マリオン朝日ホールで催されました。

1956年5月1日病気の発生が報告されてから、半世紀以上がたちました。患者である

生駒秀夫さんからは“カキ氷を口に入れられない”状態が発生し、奇妙な病気といわれたこと。それが有機水銀中毒“水俣病”と認定される過程や、検査、治療の闘病生活が語られました。

福家朝日新聞西部本社編集局長、富樫熊本学園大学教授からは、いまだに水俣病は全面的に解決していないことが指摘されました。

「確かに、これまで認定患者2268人、政治解決10,446人、新たな救済対象14,435人と数字は出てくるが」「不知火には49万人が住んでたのです。追跡調査はされていません」「それ故水俣病の被害者総数はいまだに分っていません」「被害者補償救済すらおわっていない」と。

そして井上ひさしさんは、当時の新聞キリ抜きから状況を語りました。

水俣病発生時、チッソ水俣工場からの排水による有機水銀中毒説に対して、戦時下の爆弾説、特殊プランクトン説と色々な学説が出され、あげくに、チッソの工場長は「科学的結果が出ていないので責任をとれない」と言っていたとのことです。

水俣の街の商店主が「患者さん工場をこわして何がこのるのですか」「あすの生活をだれが保障してくれるのですか」とパンフレットをつくって患者さんたちの抗議行動へ批判の声をあげていたとのことです。井上さんはこのような反応は、今(2008年)の日本のなかでもおこっているのでは……「いかに弱い人々の立場にたって事象をとまほぐしていかなければならないか」と問題の深さを提起しました。

講演を聞いて“水俣病”を知ること、伝えていくことは、これからの日本の進むべき方向性を定める為には是非必要なことなのでは……又、市場原理主義・新自由主義による現在の格差社会・ワーキングプアの状況は、“水俣”を本質的なところで反省していない証左なのではないだろうかと思われました。

☆予告：『水俣・千葉展』12/10～28

千葉県労働者福祉センター 主催：水俣フォーラム



# 三番瀬ラムサール条約登録をめざしましょう



東京湾の最奥部分に残る三番瀬。江戸前の漁が今でもおこなわれている浦安・市川・船橋沖の1800hの瀬です。

三番瀬を「生物多様性が維持されている

湿地帯を守っていかうとするラムサール条約登録」しようと求められてから約7年がたちますが、いまだ千葉県と地元行政は登録へと大きく踏み出してはいません。

(第二湾岸道路をつくりたいのだろうか?)

1000万人以上の人々が暮らす大都会に残る三番瀬。自然豊かな状態で保全し、再生・活用できるなら、“海を生かした街づくり”の貴重なモデルケースとなるでしょう。

里山と同様私達の“里海三番瀬”に目を向け光をあてましょう。

※三番瀬ラムサール条約登録への署名続行中…

ふじしろまで

## “夜間無人化構想”は 新京成の基本方針……

昨年暮れから新京成電鉄の「松戸新田」「前原」駅は、午後10時から翌午前7時までの間無人化されました。今後、乗降客1日平均1万人以下の駅で夜間無人化が予定されています。(北初富、初富、三咲、高根木戸、みのり台など) 公共施設・公共交通の安全性の観点から、周辺の市長と多くの市民が再考を要望する声をあげています。なぜか、鎌ヶ谷市議会は「議会も意見書を出してほしい」との陳情を否決しました。(ふじしろ他4名は賛成しました)



先般、新京成斎藤取締役副本部長に確認をすると、「計画はないが、構想はあるので夜間無人化になるとも言えないが、ならないとも言えない」とのこと。

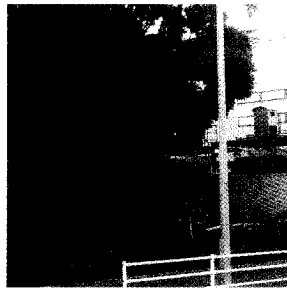
又「高架工事後エレベーター対応の用員をつける可能性もあるがそれゆえ夜間無人化の構想からはず

れはしない」とのこと。

「監視カメラ15台と監視駅からの監視人で守るので今まで以上に安全です」と今後、夜間無人化構想を推めていく新京成の方針が示されました。

人がいればこそ、安全が確保されるケースもあります。無人化を再考してほしいものです。

## ～“野馬土手”のある街～Inかまがや



ヤマヤさんの工場のところに野馬土手があります。丁度土手の断面を歩道からみることができます。(M) ※身近な野馬土手・小金牧の風景を探ねましょう。

(投稿大歓迎)

## 都市計画道路・年度内開通 一生協まえから船取バイパスへ

東武鎌ヶ谷駅東口、生協さんから船取線バイパス(ユニオン通り)へ至る道路が、今年度中(平成21年3/31まで)に完成します。

幹線道路間のネットワークが少し前進します。現在は、雨水処理の為の管の埋設等の工事がおこなわれています。



### ふじしろ政夫の市政報告会

7月21日(祝) まなびいプラザ

13:30～

—一本桜は守れるか? XP-1について—

### ☆井原、前岩国市長講演会

「米軍再編をめぐる岩国の闘い」

7/12(土) 14:30～

船橋東部公民館(津田沼パルコわき)

### ☆「蟻の兵隊」上映会 中央公民館

7/13(日) 10:30～ 13:30～ 500円

チケット(ふじしろまで)

### ☆自主講座「市民自治」中央学院大学622教室

第5回これまでのまとめと議会への市民参加

7/23(水) 18:30～ 1000円

### ☆津久井市政報告会 7/27 13:30 まなびい

### ☆泉市政報告会 7/20 13:30～ 道野辺コミセン

### きょうどう事務所 トライ・案内

□法律弁護士無料相談 要予約 ふじしろ市議まで

7/26(土) 9/27(土) 10/25(土) 11/29(土) 13:00～

□基 楽 会 毎週 金曜日 13:00～